



報告書

大工研報第 1437 号

依頼者	所在地 または住所	大阪府堺市堺区熊野町東2丁1-24
	企業名 または氏名	株式会社 ユー・イー・エス 様
提出試料名	銀添着活性炭	1試料
依頼事項	抗菌力	

平成 25 年 8 月 30 日付 第 250803 号で依頼のあった件について提出試料の試験結果を次のとおり報告します。

1. 提出試料

銀添着活性炭 (名称は依頼者の申し出による)

1試料

提出された検体を0.4 g 量り取り試料とした。

2. 試験方法

試験は JIS L 1902 を参考にして行った。5mLの普通ブイヨン培地(栄研化学(株))で大腸菌 (*Escherichia coli* NBRC3972) を27℃で一晩振盪培養した。本培養液を蒸留水で1/20濃度に希釈したニュートリエント培地で10,000倍に希釈した。滅菌した容量30mLのガラス容器に試料 (0.4 g) を入れ、調製した菌懸濁液0.2mLを容器中の試料上に接種し、ふたをして37℃に放置した。接種時および18時間後、容器に20mLの洗い出し用生理食塩水を加え、よく攪拌した。0.85%生理食塩水で10倍ずつ4段階希釈し、これらの液1mLの生菌数を測定した。対照 (接種時) は試料を入れないガラス容器を用い同様の操作をした。生菌数の測定は衛生試験法・注解(2005) 1.2.1.1細菌一般試験法 3) 菌数測定 (1) 混釈平板培養法 (p. 59) を参考にして行った。ただし、微生物の培養にはSCDLP寒天培地「ダイゴ」(日本製薬(株))を用い、37℃で1日培養した。

(次ページに続く)

平成 25 年 9 月 11 日

地方独立行政法人大阪市立工業研究所

理事長 中 許 昌 美



- ・ニュートリエント培地：肉エキス5.0g、ペプトン10.0gを蒸留水1Lに溶解しpH6.8±0.2とし高圧蒸気滅菌したもの。
- ・洗い出し用生理食塩水：塩化ナトリウム8.5gおよびポリソルベート80 2.0gを蒸留水1Lに溶解し高圧蒸気滅菌したもの。

3. 試験結果

試験菌名	提出試料名	測定	生菌数* (cfu/mL)**	洗い出し液1mLを採ったSCDLP寒天培地に対応するシャーレ上に検出されたコロニー数
大腸菌	銀添着活性炭	接種18時間後	検出限界以下	0
	-	(対照) 接種時	3.0×10^5	300以上

*¹) 生菌数は、試料に接種した菌懸濁液中での生菌数濃度に換算した。また、シャーレ上に30以上のコロニーが認められた場合に計測した。この場合検出限界は 3.0×10^3 cfu/mLとなる。

**²) cfu：コロニー形成単位

—以 上—